

## 神奈川県立神奈川工業高等学校殿

所在地：〒221-0812 神奈川県横浜市神奈川区平川町19-1 tel. (045)491-9461  
 ホームページ：<http://www.kanagawa-th.ed.jp/~kanakou2/>



「神工」という愛称で親しまれている神奈川県立神奈川工業高等学校は、明治44年(1911年)に開校した、県下第1号の工業高校です。今年、創立90周年を迎える伝統校ですが、この間、2万5千余名の卒業生を送り出し、日本の工業界を支えてきました。

平成7年に完成した新校舎は10階建てのインテリジェントビルで、機械科2クラス、建設科2クラス、電気科3クラス、デザイン科1クラスの1学年8クラス、全校24クラスをはじめとした各教室、施設が入っており、県下でも有数の充実した教育環境を誇っています。将来のエンジニアたちがここで夢を育み、希望に燃え、勉学・実習に励んでいます。

生徒研究発表会に携わった  
井上先生



### NECプロジェクトの ユーザーさんとして、 3年のお付き合い。

神奈川工業高等学校(神工)殿には、3年前からNECプロジェクトのユーザー様としてご登録いただいています。NECプロジェクトとのそもそものお付き合いは、3年前の卒業生が、プロジェクトを卒業記念品として学校に寄付したいと考え、検討した結果ViewLight (VL-620)を選択

していただいたことが始まりだったそう

です。このVL-620は今も現役として主に授業などに使われており、時に、隣接の神奈川総合高等学校の多目的ホール(463名収容)に移動して使われることもあるとのこと。

そうした中、今年1月に、神奈川県下23校の工業関連高等学校生徒の研究発表会が開催されることになり、会場がその多目的ホールに決まりました。折しも、当社ではプロジェクトのモニターキャンペーンを展開しており、より高輝度・高解像度のプロジェクトの使用しての発表をお考えになっていた神工殿としては、最新のプロジェクトを実際に試す格好の機会でもあるということで、ご応募いただきました。お試しいただいたのは、液晶プロジェクトMT1055Jでした。

Interview

神奈川県立神奈川工業高等学校殿が、この度、当社プロジェクトのモニターキャンペーンにご応募いただいたことで、学校をお訪ねし電気科の清水先生と後藤先生からお話を伺うことになりました。

神工さんは、当社プロジェクトのViewLight (VL-620)をすでに導入されていてViewLight CLUBの会員様としてご登録いただいているわけですが、どのような経緯で、モニターキャンペーンに応募されたのでしょうか。

清水先生 神奈川県では、県内の工業関連高校23校が一堂に会した生徒研究発表会というのを毎年開いているんです。今年は会場がお隣にある463人収容できる多目的ホールでやることになりました。そうしたときに、当校ではご存じのように 프로젝タを駆使した授業を進めておりますので、発表会も 프로젝タを使うのが自然の流れでした。でも、広いホールを使う以上、従来使っているVL-620よりさらに高輝度・高解像度のものがあるといいなと思ったわけです。折りも折り、NECが 프로젝タのモニターキャンペーンをやっておられた。ViewLight CLUBの会員としては、即飛びついたということですね。

日常的に、授業などでViewLightをお使いになられているということですが、具体的にどのように使われているのでしょうか。

清水先生 各種の研究会や講習会でのプレゼンテーションでは必ずと言っていいほど使っていますね。授業では、教材としてのビデオ、またパソコンを使った教材の提示ですね。生徒はビデオを見せると熱心に見ますよ。

後藤先生 教師が授業の一環で使うのはもちろんですが、生徒たちがかなり積極的に使うので驚いています。

生徒さんも使うということですが、授業を進める上で役立っているということですか。

後藤先生 はいそうです。生徒たちは、自分で発表用の資料を作って使うんです。生徒自身が生徒に対して成果などを発表する道具として駆使しているわけですね。まさに教育の柱の一つである「生徒の自己表現力を伸ばす」という目的に合致しているんじゃないでしょうか。



後藤先生

프로젝タが教育のお役に立っているということをお伺いすると、とてもうれしいですね。ではVL-620のどんなところが良いと思われますか？

清水先生 パソコン画面をスクリーン上の大画面で一斉に見せられるのがいいですね。一斉に見て同時に理解してもらえるということでしょうか。

後藤先生 自然光のままの教室で、いちいちカーテンを閉じなくてもいいのがとても便利です。これは、毎日の授業のことですから大事なところです。



もちろん、もっとこうだったらいいのという点もあるかと思いますが、そのあたりはいかがでしょうか。

清水先生 そうですね、プレゼンテーション機器としてみたとき、性能は及第点を差し上げられると思いますよ。ただ、ビデオ再生時の発色をもっと良くしていただくといいなとは思っています。それと、 프로젝タがこれだけ小型・軽量化しているんですから、スクリーンの方も同じように軽量化するといんですけど。私たちは、教室を回って授業するのにスクリーンもその都度移動しなければならないんですね。それが重いと辛いわけです。

後藤先生 まったくその通りですね。それは日頃から身をもって体験し感じていることです。まあ、本体とはとりあえず関係ないのかも知れませんが。

今、新しい 프로젝タが欲しいですね。今回の生徒研究発表会で試用したような、より高輝度・高解像度のものが欲しいのですが、そういう高性能な 프로젝タを導入している学校そのものがまだまだ少ないですよ。

本日はどうもありがとうございました

## Key word

授業での 프로젝タ使用の利点

- ・生徒の自己表現力を伸ばすのに役立つ
- ・一斉に見て同時に理解
- ・教室間移動には 프로젝タもスクリーンも小型軽量が必要